

## 令和元年度学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)の使用に関する調書<記入要領>

※学割証の取扱年度は、毎年 5 月 1 日から 4 月 30 日です。

### ●令和元年度 (R 1. 5. 1 ~ R 2. 4. 30) の受入状況

#### 調書の① 平成 30 年度からの繰越枚数 (H31. 4. 30 現在)

- ・平成 30 年度からの繰越枚数(残存枚数)を、発行台帳等に基づき記入してください。
- ・①=⑭+⑮-⑦になります。

#### 調書の② 新規受入枚数 (R 1. 5. 1 ~ R 1. 9. 30)

- ・令和元年5月1日以降に受領した学割証の枚数を記入してください。法人学校内でのやりくりは記入の対象外です。 県から直接交付があった枚数のみ記入してください。

#### 調書の③ ①+② (自動計算)

- ・①と②欄の合計になります。

### ●令和元年度 (R. 5. 1 ~ R 2. 4. 30) の使用状況

#### 調書の④ 使用済枚数 (R 1. 5. 1 ~ R 1. 9. 30)

- ・令和元年5月 1 日 ~ 令和元年9月 30 日までの使用済枚数を、発行台帳等に基づき記入してください。

#### 調書の⑤ 使用見込枚数 (R 1. 10. 1 ~ R 2. 4. 30)

- ・令和元年 10 月 1 日 ~ 令和2年4月 30 日までの使用見込枚数を記入してください。

※なお、使用見込枚数は 7 ヶ月分 (R1.10.1 ~ R2.4.30) を記入するようになっていますが、ゴールデンウィーク中 (4 月中旬 ~ 5 月上旬) の利用を希望する者については、4 月中旬からの申し込みが予想されます。この点も考慮し、R2.4.30 までの使用見込枚数に含めるよう算出してください。

#### 調書の⑥ 計

- ・④+⑤で自動計算になります。

#### 調書の⑦ 平成 30 年度使用状況 (H30. 5. 1 ~ H31. 4. 30)

- ・平成 30 年5月1日 ~ 平成 31 年4月 30 日までの使用済枚数を、発行台帳等に基づき記入してください。

#### 調書の⑧ 学生 (生徒) 数

- ・令和元年 5 月 1 日現在の学生(生徒)数を記入してください。

#### 調書の⑨ 学生 (生徒) 一人当たり使用枚数

- ・⑥欄を⑧欄で除した数(小数点第 3 位を四捨五入、小数点第 2 位まで)の自動計算になります。

#### 調書の⑩ 令和 2 年度への繰越予定枚数

- ・③欄から⑥欄を減じた数で自動計算になります。この欄が「- (マイナス)」になる場合もありますが、その場合は「- (マイナス)」のままにしてください。

## ●令和2年度（R 2. 5. 1～R 3. 4.30）の使用見込

### 調書の⑪ 学生（生徒数）見込

- ・令和2年5月1日に在籍が見込まれる学生（生徒）数を記入してください。来年度に学科新設・統合等の計画がある場合はご注意ください。

### 調書の⑫ 使用見込枚数

- ・⑨欄と⑪欄を乗じた数（小数点以下は四捨五入）の自動計算になります。

### 調書の⑬ 差引不足枚数

- ・⑫欄から⑩欄を減じた数で自動計算になります。
- ・この数を基に令和2年度学割証が配付されます。毎年決まった枚数を交付するわけではありませんので、ご注意ください。
- ・この欄が「－（マイナス）」になる場合、令和元年度の繰越予定枚数で令和2年度の使用見込枚数をまかなえるため、令和2年度の学割証は交付されません。

※

※なお、年度途中で学割証が見込枚数を上回り、不足した場合は追加交付します。

## ●チェック項目

### 調書の⑭ 平成 30 年度調書③

- ・平成 30 年度（昨年度）学割調書の③欄の数字を入力してください。

### 調書の⑮ 新規受入枚数（H30. 10. 1～H31. 4. 30）

- ・平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 4 月 30 日までに県から交付された枚数を入力してください。

### 調書の⑯

- ・⑭+⑮-⑦=①で、正しければ「OK」、誤りの場合は「ERR」の表示になります。

## ●備考

### 調書の⑰ 残存枚数

- ・備考欄に令和元年 10 月 1 日現在の残存枚数を記入してください。実際に残存枚数を数えて、保管中の枚数と帳簿上の残存枚数が合うか確認してください。

### 調書の⑱ （一般課程のみ）

- ・⑰=③-④で、正しければ「OK」、誤りの場合は「ERR」の表示になります。

### 調書の⑲ 廃紙理由

- ・「令和元年度の使用状況」欄の使用目的で廃紙があった場合は、具体的に理由を記入してください。